

## 安城市在宅医療・介護連携推進のための研修会 次第（案）

日時：令和5年7月29日（土）

午後1時30分～午後4時30分

場所：安城市医師会館 2階 大会議室

主催：安城市地域ケア推進会議

医師会部会

1. あいさつ （5分）

2. 講演 仮）「超高齢社会における個々の価値に基づく医療」（20分）

講師：安城更生病院 杉浦 真氏

3. もしばなゲーム体験 （30分）＊5人グループで1～2ゲーム実施。意見交換含む

ファシリテーター 大田博美（特別養護老人ホームひまわり・安城）

鈴木淳一郎（居宅介護支援事業所 しんでん）

炭竈秀典（ケアサポート八千代）

鳥居正芳（鳥居医院）

堀 涼恵（安城更生病院）

4. グループワーク （80分）＊25分ずつ3つに分ける（意思形成・表明、決定）

「意思決定支援の4つのプロセスについて」

5. 発表

6. 総評

### 【次回研修会のお知らせ】

○日 時 令和5年○月○日（○）○○時分から○○時まで

場 所

テーマ

講 師

## 「エンドオブライフ・ケア研修会」プログラム（案）

時間	内容
13：00	受付開始
13：30	開催挨拶 安城市役所福祉部高齢福祉課 課長 長谷 憲治氏
13：35	講義 杉浦真氏（20分）
13：55	もしばなゲーム体験（30分）＊自己紹介含む ＊1～2ゲーム実施
14：25	休憩（10分）
14：35	事例説明（5分）
14：40	意思形成支援（25分）グループワーク＊鈴木
15：05	意思表示支援（25分）ロールプレイ＊大田
15：30	意思決定支援（25分）グループワーク＊堀
15：55	まとめ（発表準備）
16：00	発表（25分）1G5分×5
16：25	講師総評（5分）
16：30	閉会挨拶 安城市医師会会長 岡本雅彦氏
16：30	アンケート記入・終了

## **1. 講義**

**講 師 : 杉浦 真医師**

**テーマ : 仮) 超高齢社会における個々の  
価値に基づく医療**

## **2. もしバナゲーム**

---

## 「レクリエーションルール（ヨシダルール）」

---

1. 4人1組で、各プレイヤーに 5 枚ずつカードを配ります。次に場に5枚のカードを表向きに置きます。残りのカードは中央に積んでおき、積み札とします。
2. 各プレイヤーは、自分の順番が回ってきたら手札の中から不要なカードを 1 枚、場に置かれたカードと「必ず」交換します。1 周した後に順番が回ってきた際に交換したいカードが場にあれば「交換」、なければ「パス」します。一度「パス」した後でも、その後に場に欲しいカードが出てきた場合は再度「交換」することも可能です。
3. 全員が「パス」をした時点で場のカードを流します。積み札から新たに 5 枚のカードを場に表向きに置きます。
4. 2, 3 を繰り返します。中央の積み札が無くなって、場のカードが流れたらゲーム終了です。
5. 各人が手元にある 5 枚のカードから特に大切なカードを 3 枚選び、その理由を考えます。
6. 一人ずつ選んだカードを披露して、それぞれの思考過程を他のプレイヤーに説明します。

### **3. グループワーク**

## **意思決定支援の4プロセス**